旭市学校再編だより

学校再編 NEWS

第二中（琴田・共和）・干潟中

Vol.7

令和８年９月発行

旭市教育委員会教育総務課　学校再編室

今後の方向性について、答申書を提出

「対象学区の見直しや柔軟な学区制度の導入を検討したうえで、（仮称）北統合中学校を新設すること」

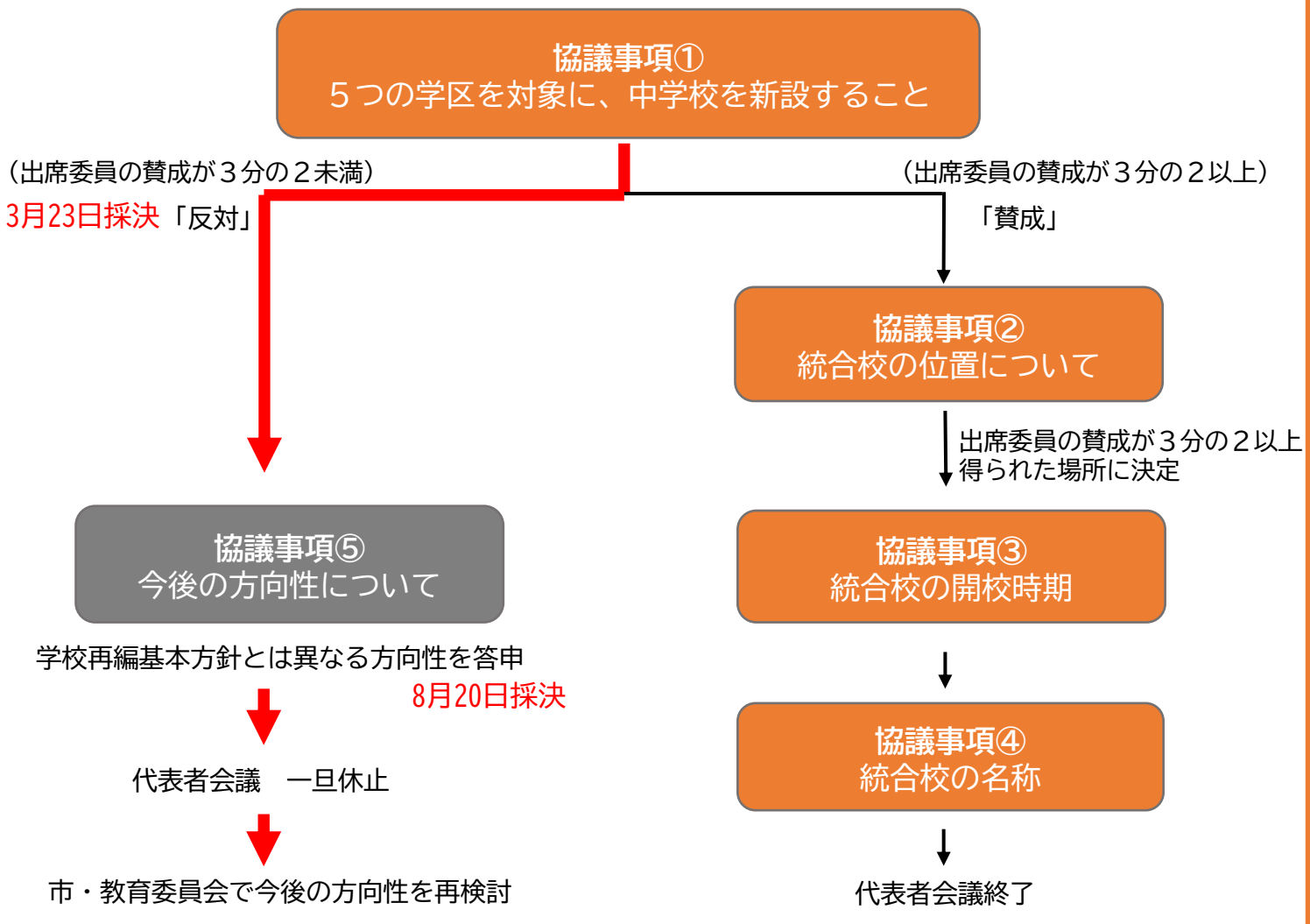
8月20日（木）午後6時30分から旭市役所１階市民ホールにおいて、第７回（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催しました。

今回の会議では、前回に引き続き「今後の方向性について」を議題とし、答申書案について最終確認をした後、採決を実施しました。採決の結果、全員賛成により答申書案が可決されました。

（答申書の内容は裏面に掲載）

可決された答申書は教育委員会に提出されました。今後は市の内部会議において（仮称）北統合中学校の方向性を改めて検討していきます。

（仮称）北統合中学校代表者会議フロー図



今後の方向性について（答申）

琴田小、共和小、中和小、萬歳小、古城小の学区を対象とした統合中学校の整備については、将来にわたり持続可能な教育環境を整備するため、将来的な生徒数の推計を踏まえた「対象学区の見直し」や「柔軟な学区制度の導入」を検討したうえで、（仮称）北統合中学校を新設※すること。

※新設・・・新たな場所に新築または干潟中建て替え

なお、その際は以下の留意事項を踏まえて検討を行うこと。

【留意事項】

１．統合にかかる費用・整備について

学校施設の整備には、莫大な費用を要することから、将来の子供たちに過度な負担を残すことのないよう、長期的な財政見通しに基づき、計画的かつ効果的な整備を進めること。また、子供たちの可能性を最大限に伸ばせるような魅力ある教育環境の整備を検討すること。

２．スピード感を持った対応について

生徒数の減少が今後さらに進むことが見込まれることから、教育環境の維持・向上を図るためにも、スピード感を持って着実に進めること。

３．安全で安心な通学について

中学校の新設に併せた通学路の整備を行うこと。一方で、道路整備には多くの期間を要することが懸念される。気候変動の影響により、年間を通じて高温となる時期が長期化しており、登下校時の熱中症のリスクが懸念されることから、安全で安心な通学環境を確保し、生徒の身体的負担を軽減するため、スクールバスの導入を検討すること。

４．新たな学校用地の購入について

土地購入に係る費用や期間を勘案すると、その必要性について十分な説明が求められる。一方で、成田空港の第２の開港を見据え、北統合中学校を中心とした新たなまちづくりも積極的に進められるよう、位置については、立地特性や地域振興などを踏まえた検討を行うこと。

５．干潟中学校の活用について

干潟中学校は、北統合中学校の学区としては立地的に北に偏っているが、旭市の北地域の玄関口となるほか、地域の防災拠点としての役割や東総運動場との連携、隣接する市所有地を含めた中学校機能の拡充が見込めるため、干潟中学校の活用も検討すること。

６．変化に対応した持続可能性の高い施設整備について

北統合中学校の施設は、将来の人口動態の変化を見据え、小学校や小中一貫校、あるいは公民館等の公共施設への転用など、変化に対応できるような多目的で持続可能性の高い施設整備を検討すること。

本答申は、「子供たちのための充実した安全安心な教育環境の早期実現」を最優先に検討した結果であり、その実現にあたっては、統合中学校の整備が長期化することのないよう、あらゆる選択肢について検討し、持続可能でスピード感のある学校再編を着実に推進されることを要望する。

学校再編ホームページ

過去の学校再編NEWS

【お問い合わせ先】　旭市教育委員会教育総務課学校再編室
TEL:0479-85-8614　FAX:0479-62-5855
Email:kyo-saihen@city.asahi.lg.jp